

# 天然素材(天然ゴムラテックスと苦汁)のみを使用する新油分回収方法のシステム開発

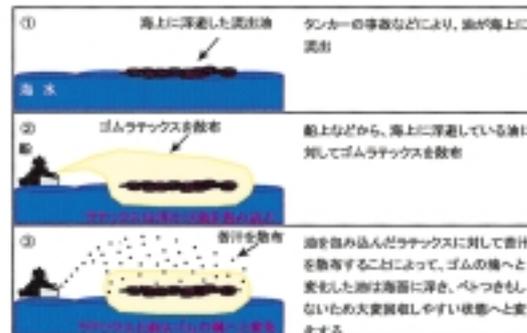
企業 / (株)テクノバ

研究者 / 吉田均 (物質工学工業技術研究所複合材料部知能応答材料グループリーダー)

東海大学工学部、海洋学部の協力を得て、流出重油周辺に天然ゴムラテックスの噴射と苦汁水溶液の噴霧テストを波動装置付水槽、及び直径10mの大型水槽で行い、これにより速やかに相当強固なオイルフェンスが形成され、重油の拡散が阻止されることが実証された。

しかし、荒天下、事故状況に近い条件下での詳細なデータの集積には至っていない。

一方、散布機、噴霧ノズルについても、外部混合二流体ノズルにより、天然ゴムラテックスと空気の混合は、天然ゴムラテックスの霧化コントロール(微粒子から素粒子)を天然ゴムラテックスの流量不変のまま、空気圧の変更により行うことができ、広範囲な粘度変化にも十分対応できることが実証された。



新油分回収方法の原理